お手入れのしかた

本機の清掃について

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン，シンナー類を使うと，ケースや塗装が変質しますので，避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は，その注意書にしたがってください。

お願い
本機内に水が入ると故障の原因になりますので，洗車や雨のときに水がかからないようにご注意ください。

カセットテープの取り扱い

取り扱い上のお願い

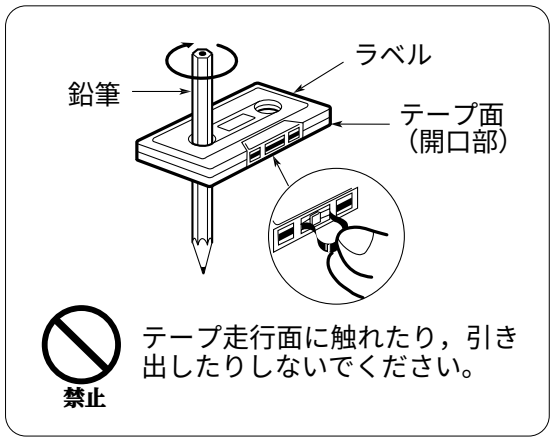
- ゆるみ止めを入れたまま，カセットテープを挿入しないでください。
- ラベルがはがれかかっているときは，はり直してからご使用ください。そのまま使うと，イジェクト不良などの原因になります。
- C-120テープやエンドレスカセットテープは使用しないでください。テープ巻き込みなどの原因になります。

保管上のお願い

- ほこりがテープにつかないように，必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所に置くことは避けてください。
  1）長時間直射日光のあたる場所。
  2）湿気やゴミ・ほこりの多い場所。
  3）暖房器具の熱が直接あたる場所。
  4）車のシート，ダッシュボードの上。
  5）磁気のあるものの近く。

たるみの取り除きかた

下図のように締め直してからお使いください。たるんだまま使用すると巻き込みなどの原因になります。



故障についてのお願い

万一異常(ヒューズの溶断など)が起りましたら，必ずお買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」(別紙参照) に修理をご依頼ください。ご自身でヒューズの取り替えや修理をされますと，思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので，特にご注意ください。

⚠注意

故障や異常のまま使用しない

音が出ない，煙が出る，変な匂いがする等の異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

本機を分解したり改造すると，発煙・発火の原因になります。

故障と思われる前に

■ 電源

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンスイッチを“ ACC ”または“ ON ”にしてください。	10
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	38〜41
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを，常時通電している端子に接続してください。	38〜41
	アクセサリー電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリー電源コードを，車のACC電源へ接続してください。	38〜41
	ヒューズが切れている。	“ 故障についてのお願い ”の項をご参照のうえ，所定容量のヒューズと交換してください。	34

■ 共通

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンスイッチを“ ACC ”または“ ON ”にしてください。	10
	電源が“ ON ”になっていない。	PWR ボタンを押して，電源を“ ON ”にしてから，音量を調整してください。	10
	音量が下がっている。	音量を上げてください。	12
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	38〜41
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを，常時通電している端子に接続してください。	38〜41
	アクセサリー電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリー電源コードを，車のACC電源へ接続してください。	38〜41
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを，車体の金属部へ接続してください。	38〜41
	スピーカーコードが正しく接続されていない。	スピーカーコードを正しく接続してください。	38〜41
	ナビミュートコードが正しく接続されていない。(MUTINGと表示されている)	ナビミュートコードを正しく接続してください。	38〜41
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	—
左右前後のいずれかの音が出ない。	左右前後のバランス調整が片方に寄っている。	BALANCE，FADERを適切に調整してください。	13
ボタン操作ができない。	デモモードになっている。	デモモードを“ OFF ”してから操作してください。	10
	ナビミュートコードが正しく接続されていない。(MUTINGと表示されている)	ナビミュートコードを正しく接続してください。	38〜41
	ナビミュートがはたらいている。	ナビミュート中でないときに，操作してください。	31

故障と思われる前に（つづき）

■ 時計

症　状	原　因	処　置	参照ページ
時計が調整できない。	電源が“ON”になっていない。	PWRボタンを押して，電源を“ON”にしてから調整してください。	10

■ ラジオ

症　状	原　因	処　置	参照ページ
FMステレオ放送，モノラル放送ともノイズが多い。	放送局が遠かったり，放送電波が弱い。	電波の強い他の放送局を選局してください。	17
プリセットしたはずのメモリーが，解除されている。	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを，常時通電している端子に接続してください。	38～41
	バッテリー電源コードのヒューズが切れている。	“故障についてのお願い”の項をご参照のうえ，所定容量のヒューズと交換してください。	34

■ カセットテープ

症　状	原　因	処　置	参照ページ
カセットテープがイジェクトしない。	● カセットテープの不良。 ● メカの不良。	操作パネルを開けて，⏏ ボタンを押してください。 正常に戻らない場合は，お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。	23／45
カセットテープを挿入しても，すぐ反転を繰り返してしまう。	カセットテープの不良。	カセットテープを他のものに替えて，確かめてください。	—
カセットテープの再生が停止しない。	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	38～41
頭出し選曲ができない。	曲間の無音部分が短い。	カセットテープを他のものに替えて，確かめてください。	—
音質が悪い。	カセットテープの不良。	カセットテープを他のものに替えて，確かめてください。	—
	ヘッドが汚れている。	“ヘッドのクリーニング”の項をご参照のうえ，ヘッドのクリーニングをしてください。	34

■ リモコン

症　状	原　因	処　置	参照ページ
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性(＋)(－)が逆になっている。	電池を正しく入れてください。	6
	電池が消耗している。	電池を交換してください。	6
	リモコンの方向が正しくない。	操作パネルのREMOTE（リモコン受光部）に向けて操作してください。	7

■ その他

症　状	原　因	処　置	参照ページ
操作できない。 表示が異常。	操作パネルがCDプレーヤーと入れ替わっている。	本機の操作パネルを取り付けてください。	33

■ カセットテープ使用時のエラー表示

ディスプレイ表示	原　因	動　作	処　置
PLEASE　EJ	イジェクト動作が完了していない状態のとき，カセットテープの演奏を始めようとした。	――	操作パネルを開けて，⏏ ボタンを押してください。

■ チェンジャー使用時のエラー表示

ディスプレイ表示	原　因	動　作	処　置
CDC　E1 MDC　E1	●ディスクが汚れている，または裏返しになっている。 ●データ用MDまたはブランクMDを再生した。	自動的に次のディスクに移動する。	（マガジンを）イジェクトして，ディスクを確認してください。
CDC　E2 MDC　E2	ディスクに傷がついている。		
CDC　E3 MDC　E3	何らかの原因でセットが動作しない。	――	チェンジャーの ⏏ ボタンを押してください。 動作しないときは，チェンジャーのリセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合は，お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理依頼をしてください。
NO　DISC	マガジンの中に，ディスクが1枚も入っていない。	――	マガジンの中に，ディスクを入れてください。

お知らせ

- E1，E2の前に表示されている数字は，エラーとなっているディスク番号です。
- チェンジャーによって，表示内容および対応操作が一部異なります（チェンジャー側の仕様の違いによる）。詳細は，ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

配線のしかた

配線の前に

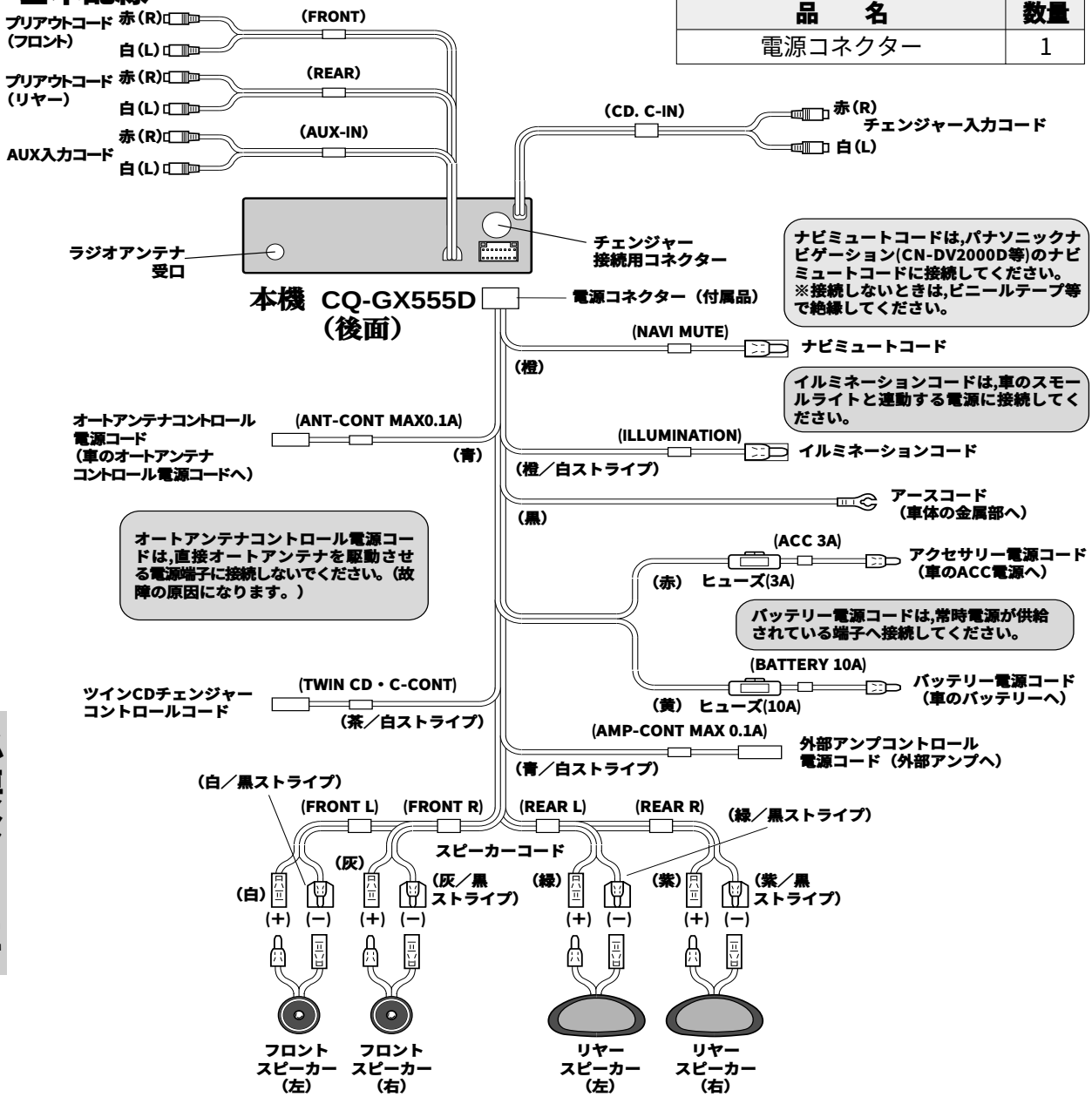
- 本機はDC12V⊖アース車専用です。
- 配線作業中のショート事故防止のため，バッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 配線については，各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- スピーカーは各種とりそろえておりますので，お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では，バッテリーの端子をはずすとこれらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので，ご注意ください。

基本配線

使用する付属品

品　　名	数量
電源コネクター	1

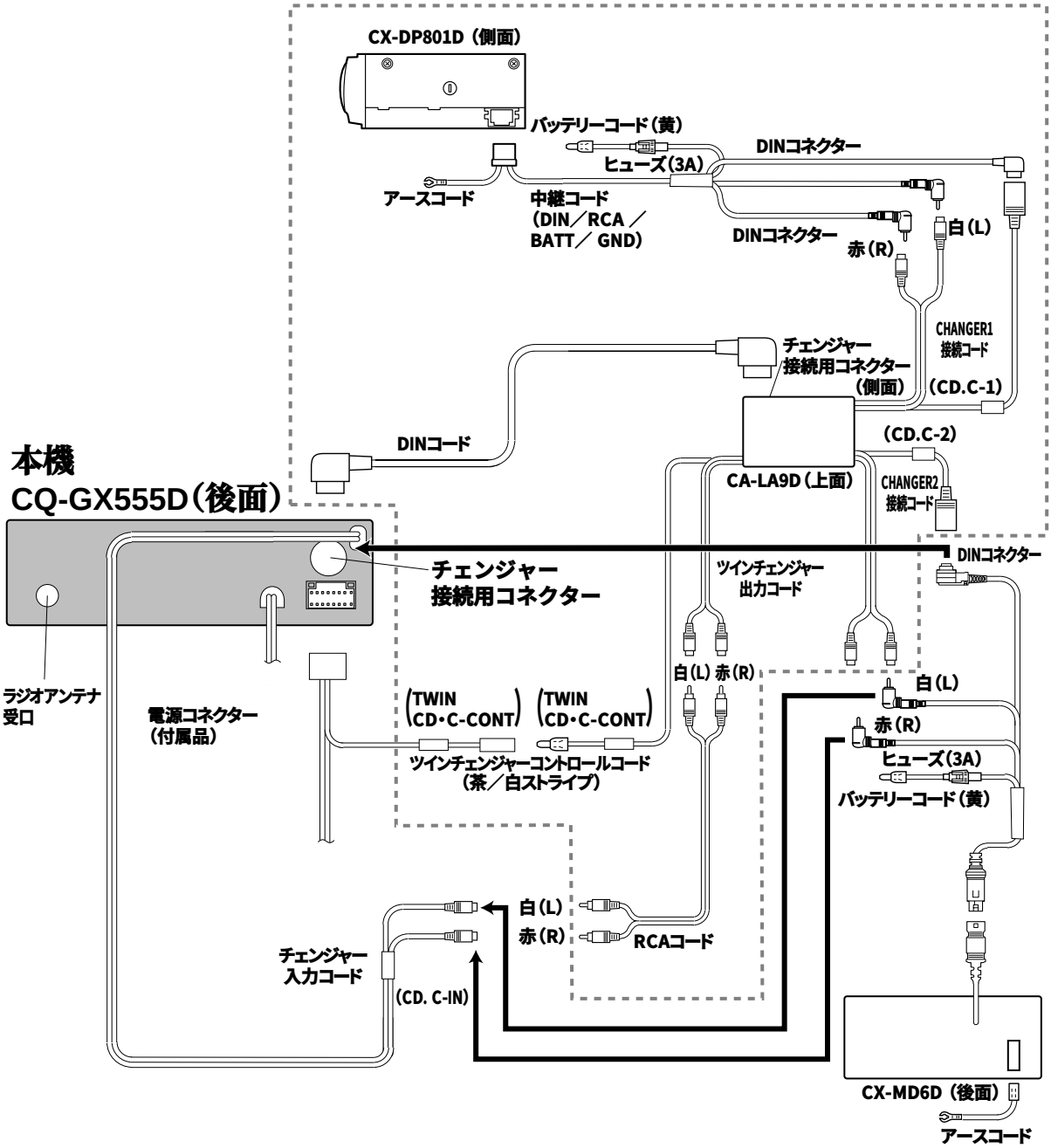


※２スピーカーで使用する場合：使用していないスピーカー出力コードは無接続のままでアースに接触しないように，ビニールテープ等で絶縁してください。

システムアップ1：チェンジャーを接続する

例）CDチェンジャー（CX-DP801D），MDチェンジャー（CX-MD6D）との組み合わせ

- チェンジャーを2台接続する場合は，　　の枠内のように接続します。
  ※ ツインチェンジャーコントロールユニット（CA-LA9D）が必要です。
- 1台の場合は，太線　（ ◀━━━━ ）のように接続します。

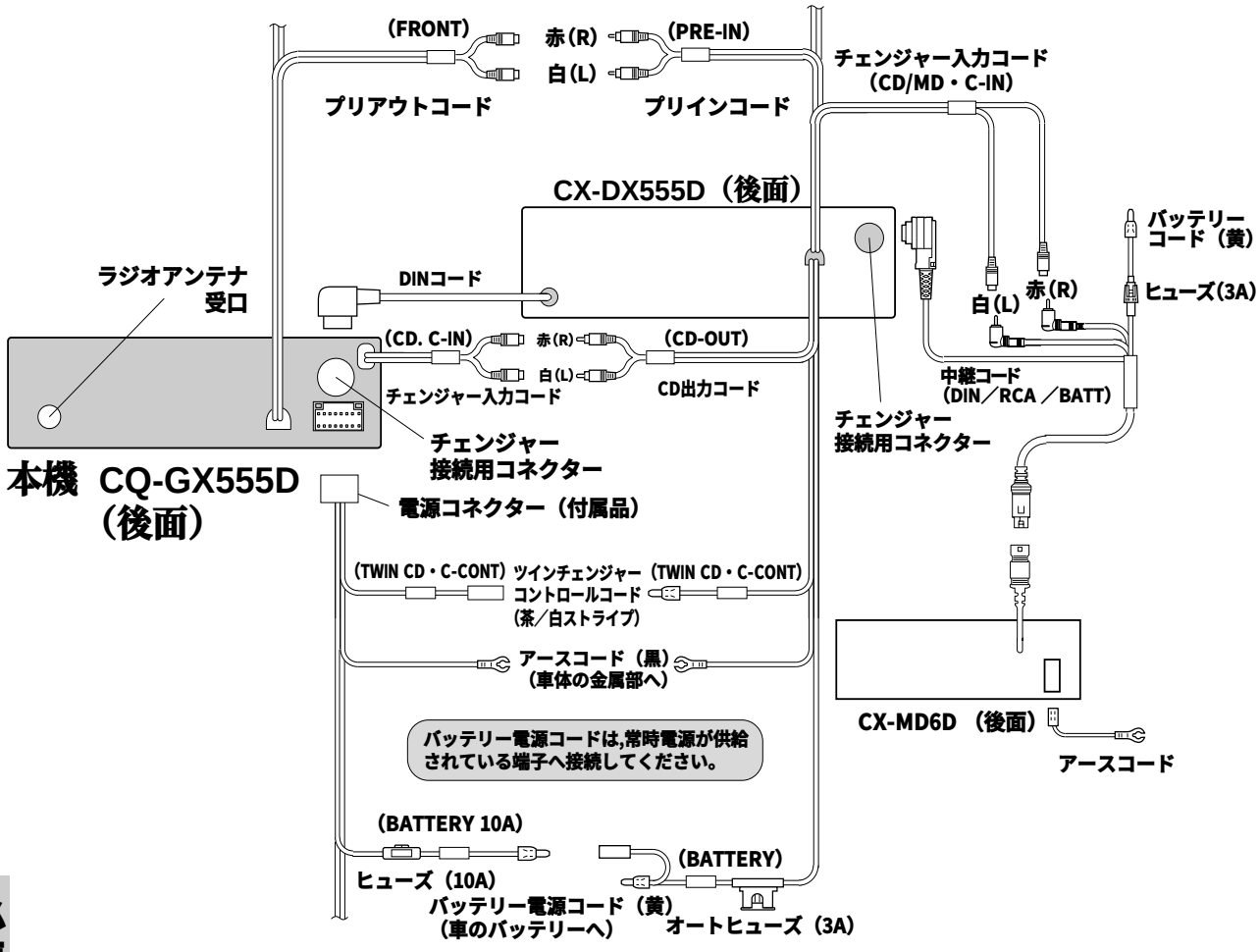


必要なときに

配線のしかた（つづき）

システムアップ2：専用CDプレーヤーとチェンジャーを接続する

例）専用CDプレーヤー（CX-DX555D），MDチェンジャー（CX-MD6D）との組み合わせ



⚠ 注意

取り付け，配線は専門技術者に依頼する

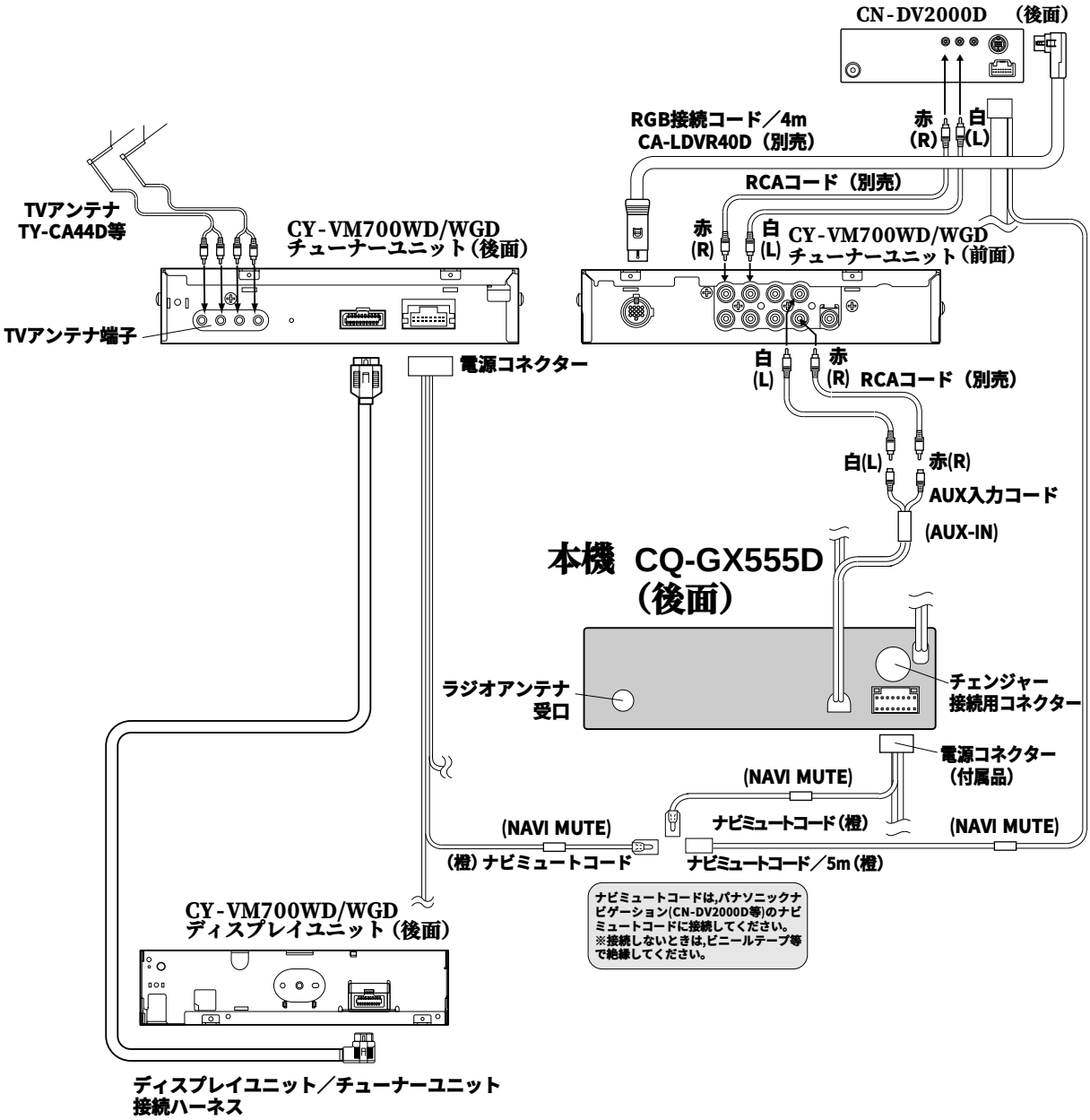
本機の取り付け，配線には専門技術と経験が必要です。安全のため，お買い上げの販売店に依頼してください。

決められたヒューズを使用する

ヒューズ交換は必ず表示された規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると，発煙・発火の原因になります。

システムアップ3：1DINテレビとナビゲーションを接続する

例）1DINテレビ（CY-VM700WD/WGD），ナビゲーション（CN-DV2000D）との組み合わせ



必要なときに

取り付けのしかた

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。
- 取り付けには，車両で使用されているブラケットをご使用ください。
- 本機は，上段に取り付けてください。ただし，1DIN テレビと組み合わせる場合には，下段へ取り付けてください。

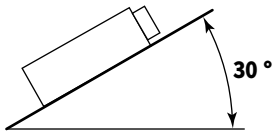
取り付け用付属品

添付の袋には，右表の取り付け用部品が入っております。よくお確かめください。

番号	品　　名	数量
❶	座金付きねじ(φ 5×8 mm)	4
❷	皿小ねじ(φ 5×8 mm)	4
❸	スペーサー	2
❹	両面テープ	2

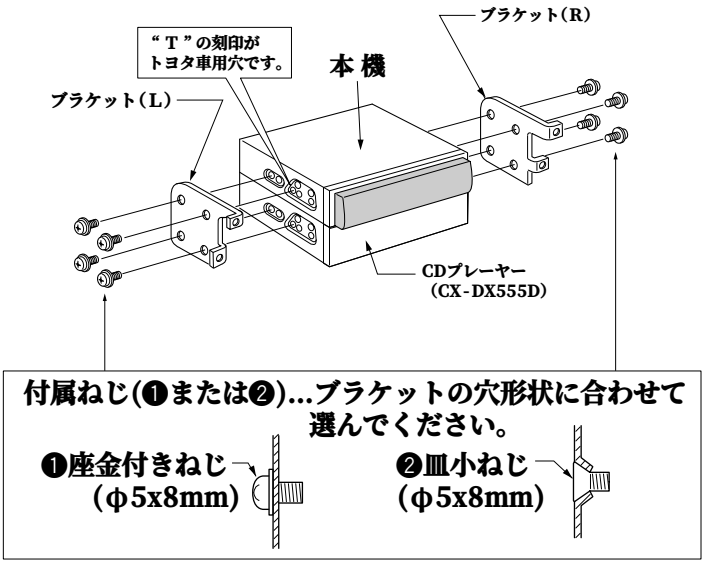
取り付けのお願い

本機の性能を十分に発揮するために，水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



■ トヨタ車に取り付ける場合（DINサイズ採用車）

1．車両からカーラジオ，小物入れを取りはずし，それらを止めているブラケットを取りはずします。
2．付属のねじ❶または❷を使用して，本機にブラケットを取り付けます。
3．本機を車両に取り付けます。



- 年式，車種，グレードにより，専用キット（別売）が必要な場合がありますので，別途販売店にご相談ください。
- なお，車両側との配線が容易にできる専用の中継コード（別売）が準備されておりますので，販売店にご相談のうえ，お買い上げください。

■ 日産車，本田車，三菱車に取り付ける場合（DINサイズ採用車）

- 上記メーカーのDINサイズ採用車には，メーカー別の標準取り付けキット（別売）が準備されておりますので，別途販売店にご相談ください。
- なお，年式，車種，グレードにより専用キット（別売）が必要な場合もありますので，販売店にご相談のうえ，お買い上げください。

■ 上記以外の車に取り付ける場合

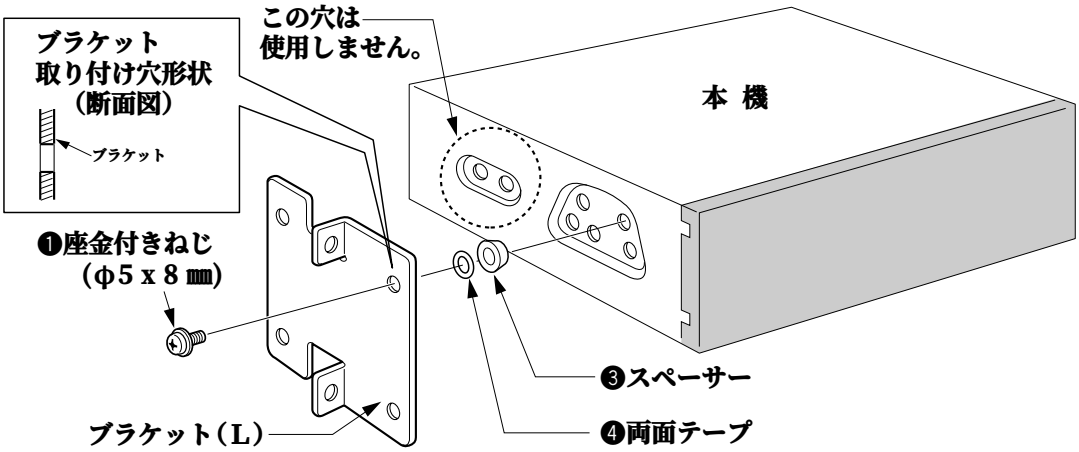
汎用（別売）または車種別に専用キット（別売）が準備されておりますので，別途販売店にご相談ください。

お知らせ

DINサイズ採用車とは，オーディオスペースに通称セット幅180㎜，高さ50㎜サイズが搭載できる車です。

スペーサーについて

車両のブラケット取り付け穴形状が下図のような場合に使用します。下図をご参照のうえ，正しく取り付けてください。



⚠ 注意

取り付け，配線は専門技術者に依頼する

本機の取り付け，配線には専門技術と経験が必要です。安全のため，お買い上げの販売店に依頼してください。

仕様

共通

電源電圧	：DC 12 V（試験電圧14.4 V）⊖アース
消費電流	：8.5 A以下（TAPE動作定格出力時）
定格出力	：16 W×4 CH（1 kHz，1 %, 4 Ω）
最大出力	：40 W×4 CH
適合スピーカーインピーダンス	：4 Ω
音声入力インピーダンス	：10 kΩ
音声入力感度	：200 mV（AUX IN）
プリアウト出力電圧	：600 mV
プリアウト出力インピーダンス	：600 Ω
外形寸法	：幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 150（mm）
質量	：1.5 kg

チューナー（ラジオ）部

FMチューナー部

受信周波数範囲	：76.0 MHz ～ 89.9 MHz
実用感度	：12 dBf
全高調波ひずみ率（モノ）	：0.3 %（1 kHz）
聴感補正SN比（モノ）	：70 dB
周波数特性	：20 Hz ～ 15 kHz ±3 dB
分離度	：42 dB（1 kHz）
実効選択度	：75 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	：522 kHz ～ 1 629 kHz
実用感度（S/N 20dB）	：27 dB / μV
イメージ妨害比	：65 dB

カセットプレーヤー部

再生方式	：4トラック2プログラムステレオ
テープスピード	：4.76 cm/秒
早送り時間	：100 秒（C-60）
巻戻し時間	：100 秒（C-60）
ワウ・フラッタ	：0.07 %（WRMS）
信号対雑音比	
ドルビーB NR OFF	：56 dB（IHF,A）
ドルビーB NR ON	：66 dB（IHF,A）
周波数特性	
ノーマルテープ使用	：30 Hz ～18 kHz
メタルテープ使用	：30 Hz ～20 kHz
クロストーク	：65 dB

■ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

■ドルビー，DOLBYおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

製品仕様および外観は，改良のため予告なく変更することがありますので，ご了承ください。

アフターサービスについて

■ 保証書（別に添付してあります。）

保証書は，必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき，内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間－お買い上げ日から１年間

■ 修理を依頼されるとき

“ 故障と思われる前に ” の項に従って調べていただき，直らない場合には必ず電源を切ってから，お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- **保証期間中は**

  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので，恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
  お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にご連絡ください。

- **保証期間が過ぎているときは**

  お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については，ご希望により有料で修理をさせていただきます。販売店にご依頼にならない場合には，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にご連絡ください。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は，製造打ち切り後，最低６年間保有しております。

■ アフターサービスなどについて，おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にお問い合わせください。

便利メモ（おぼえのため，記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	**CQ-GX555D/SD**
販　売　店　名	☎（　　）　　－		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　　－		

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地
☎（045）932‐1231（大代表）

YEFM282938A　B0998-1099